

# 実技 60分

## 刈払機取扱作業者に対する 安全衛生教育カリキュラム

平成12年2月16日付基発第66号

実技実施日 年 月 日

実施者氏名

### 準備（保護具）



ヘルメット



マスク



フェイスシールド



耳栓



保護手袋



すね当て



安全靴

必要に応じて以下を準備



チャップス



ホイッスル

### 準備（機械・工具）

#### 燃料の準備

メーカー純正の混合燃料缶は既に規定の比率でガソリンとオイルが混合されているため、初めて使用する際には扱いやすくなっています。配合を間違った燃料を使用すると、エンジンや機械内部に大きな負荷をかけることになり、故障の原因になります。

#### バッテリーの準備

予備も含めて、十分に充電を行っておくことで、中断することなく作業を行えます。

#### 目立て機

目立て機は、刈刃を取り付けるのご受け台、電動モーターで回転させる円板の砥石等から構成されています。

※砥石の取替え及び試運転を行う際は、「自由研削砥石取扱作業従事者特別教育」が必要です。

### (1) 刈払機の取扱い

#### 基本

- ・エンジンをかけたまま刈刃の取付け、取りはずしをしないでください。
  - ・交換用刈刃および刈刃取付け金具類は、純正品をお使いください。
  - ・刈刃交換は、必ず刃物取付け金具類( ナットカバー、刃押さえ金具、取付ナット)の表面についたごみを十分に取除いた後に行ってください。
  - ・エンジンを始動させた後は、2～3分間低速で運転して下さい
- 持ち運び刈払機を実技現場に運ぶときは、刈刃を外すか、刈刃に安全カバーを必ず取り付けて下さい。刈刃の安全カバーは、刈刃に触れて起こる事故を防止するだけでなく、刈刃を保護することにもなります。
- 「緊急離脱装置」の使用の確認をします。
- 「飛散物防護カバー」の取付位置の確認をします。



### (2) 作業の方法

#### 基本

- ・服装は、安全な作業を行うことができ、清潔で身軽なものを着用することが必要です。また、保護具は、災害から周囲のものや自分を守る大切なものです。
- ・作業方法については、傾斜などの作業条件を踏まえ、安全の確保を最優先にし、その他、作業能率等を考慮して、最適な方法を選ぶことが大切です。

#### 方法

刈刃：メインパイプを振り回さず、腰の移動で刈刃を水平に右から左に弧を描くように振りながら前進し、刈刃の左側で刈込んでください。

刈刃直径の1/3の部分で刈ると、切れ味が良く、また草の巻き込みやキックバックも少なく効率的に作業できます。

ナイロンカッター：ナイロンコードカッタを左から右に振りながら刈ると、切りくずが身体から遠ざかる方向に飛びますので、服の汚れが少なくなります。

・刈幅は、約1.5m程度とします。刈幅の中央よりやや左側（斜面の場合には、やや下方）に立って、右から左に刈払うこと。また、刈り進むときは、刈残しがないように刈払った分だけ進みます。

・刈払い高さは、刈刃を腰より低い位置にして作業を行うことが基本です。

### (3) 刈払機の点検・整備の方法

#### 点検

- ・点検、整備を行う作業場所には、関係者以外の立入りを禁止します。
- ・機械は必ずエンジンを切り、機体が冷えた状態で行います。
- ・刈刃の外周やのこ穴周辺の割れ、歯のかけなどの損傷がないかを確認します。刈刃の変形がないかを目視や打音で確認します。

#### 目立て

磨耗したチップソー等の回転刃に、ヤスリやグラインダーを使用して目立てを行います。目立て作業では、削る工程で刃が高温になると強度が低下して破損（チップ飛び）の原因となり危険です。